

令和6年 第5回福祉医療常任委員会所管事務調査報告書

令和6年6月26日

別海町議会議長 西 原 浩 様

福祉医療常任委員長 外 山 浩 司

福祉医療常任委員会の所管事務調査を実施したので、別海町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

《第5回》

1 日時

令和6年6月26日（水） 午前10時から午後12時30分まで

2 開催場所

委員会室4

3 出席委員

外山委員長、宮越副委員長、中村委員、小椋委員、高橋委員

4 欠席委員

なし

5 委員外

なし

6 協議事項

- (1) 子ども・子育て支援について
- (2) 野生鳥獣対策と課題について
- (3) 町立別海病院の運営について

7 説明員の職と氏名

病院事務長 三戸俊人、病院事務課長 槇木直人、事務課主幹 奈良司、
事務課主幹 大森圭介
福祉部長 干場みゆき、福祉課長 石戸谷友絵、介護支援課長 高橋勇樹、
老人保健施設事務長 渡辺久利、福祉課主幹 澤田憲一、福祉課主査 大森晴海
保健生活部長 小川信明、保健生活部次長 千葉宏、保健生活部次長 谷村将志、
生活環境課長 上田健一、町民課主査 永田恵一、税務課主幹 武田妙子

8 協議結果

(1) 子ども・子育て支援について（福祉部）

- ・質疑等については、別添要点記録のとおり
- ・上春別地域で「みっか」という障がい者通園施設が昨年から運営をはじめ、上西春別地域からも通う児童もいて、放課後の居場所ができた。
- ・障がい者児童施設の「ひかり」（木嶋前議員が理事長）との話し合いを持ち、更に問題点や支援の状況などを確認していく。
- ・学校の特別支援の先生方の話から、最近「キレル」子どもが増えつつあるようだ。
- ・現在、きめ細かな支援体制ができているが、道教委の方で支援縮小方向の見直しがされつつあり、子ども一人ひとりを大切にしていける方向に逆行するのでは。

＊「ひかり」の先生方と話合いの開催を早期に実施方向で。

(2) 野生鳥獣対策と課題について（保健生活部）

- ・質疑等については、別添要点記録のとおり
- ・シカの囲いわなについて
設置の時に専門家の意見を聞いて設置している。
近年、シカも学習して、罠にかからなくなってきて捕獲数が減少してきている。
再度、専門家のアドバイス等を仰ぐ必要があるのでは。
- ・クマ対策について
ハンター出動の際の謝礼金が低いのでは。（捕獲・駆除目的 10,000 円、居るかもしれない場所の見回り時 5,000 円、補助の時 2,000 円で問題になっている奈井江町より低い状況である）
別海町のクマは、単に通過しているだけで、羅臼町のクマと違い巣があるわけではないのでは。クマは移動をしているので、根室管内的な組織があると良い。
通学路付近で目撃情報があった。安全確保のために通学路の草刈りを教育委員会に依頼したら草刈りは、担当外と言われた。PTA で実施しようとする、国道の草刈りは開発が担当なので時間が過ぎ対応ができなかった。安全確保のための草刈りは有効な手立てである。

(3) 町立別海病院の運営について（病院）

- ・質疑等については、別添要点記録のとおり
- ・医師確保について
一般質問では、診療所の今後については「可能な限り対応していく」との町長からの回答であった。医師不足などで「一時休診」しても存続させるかまでは確認ができなかった。
診療所の先生や別海病院の院長と話ができる人がいて、本音や本心を聞き、今後の経営や医師確保につながることにできれば良いが。

高齢になり「辞めたい」と思っている場合もあるのでは。早めに情報をつかむことができれば、早い対応が可能である。

３月に医師が退職し、対応策として多くの出張医のやりくりで、残っている医師のストレスの軽減につながっている様でもある。

医師との交流、繋がりなどは、町内にある医同友会を中心に進めてもらう方が良い。議員も医同友会に加入して議員の立場ではなく会員の一人として活動し交流を深めていく方向が良いのでは。

以上